北海道芸術デザイン専門学校　教科目概要（授業カリキュラム）

一般課程　総合デザイン造形科（夜間２年制）

絵画芸術専攻

※2024年度実績

共通教科目	概要	1年次	2年次
就職講座Ⅰ	就職を前提とした本校での学校生活の過ごし方や、学習姿勢、社会人になるための基本を学ぶ。ビジネス能力検定ジョブパス対応。	○	
一般教養（業界研究）	デザインの活躍するシーンを把握する,実際の制作例などを例に、すべてのクリエイティブに共通する「コミュニケーション」の大切さを学ぶ。	○	○
デザイン概論	ビジュアルデザインとは何か。その概念や目的を理解する。実例の紹介に演習を交えながら、デザインの領域の広がりと基礎的表現方法について学ぶ。	○	
デッサンⅠ	デザイン、イラスト、CG、漫画、絵画など様々なジャンルに共通する基礎を、デッサンという作業を通して身につける。	○	
Illustrator基礎	Illustratorを使用して基本的な操作技能を身につける、Photoshopなど他アプリケーションと併用してのIllustratorの使い方を学習する。	○	
Photoshop基礎	Photoshopの基本操作の理解し、自ら画像データを編集する技術を習得する。	○	
色彩学	日常生活のあらゆる場面で欠かすことができない「色彩」について、色の仕組みや配色表現など演習を通して学ぶ。	○	
ベーシックデザイン	チームで仕事をすることの良さ、難しさ、などを学ぶ。他者から見た場合の表現の違い、捉え方の違いを学び、多面的に物を見る力を養う。	○	
レイアウト	造形を構成する基礎的な要素、原則、レイアウト技法を学び、平面表現技法の演習を通じて、レイアウト感覚や工夫、伝え方の基本を習得する。	○	
イラストレーション	イラストレーションの効果と目的を知り、画材の基本的な特性、効果的な技法を学び、しっかり観察し、伝えるためのイラストを表現する。	○	

専門教科目	概要	1年次	2年次
静物表現研究	静物画の魅力を限られた色彩で描くことで、モチーフの持つ形、存在感、構成による魅力を追求する。	○	
油彩表現研究Ⅰ	油彩画制作の中で油絵具についての知識を深める。混色の仕方、描き方、技法などを学ぶ。	○	
絵画空間構成論	絵画空間とは何かを自己で考えられる力を身に着け、表現できるようになる。	○	
西洋美術史概論	古代から現代にかけての西洋美術史を、各時代を代表する作家と作品に焦点を当てながら学ぶ。	○	
技法研究Ⅰ	素材や画材について実践を通して学び、最終的には複数の技法を用いて課題を制作する（絵画空間構成論へ続く）	○	
風景表現研究	風景画を描くことを通して、絵画の構図や構成、色彩の性質の基本、並びに確かな量感や空間感、質感を構築するための様々な理論や技法を学ぶ。同時に、滑らかで平滑な質感を持つ支持体の良さを生かしながら描画していくことで、デリケートな彩色技術を習得することが目的である。	○	
デッサンⅡ	最も重要な基本的技術であるデッサン力を学ぶ。繰り返しデッサンを描くことで必要なさまざまな技術を養う。人物クロッキーを繰り返し描くことで、観察力、描写力を伸ばすことはもちろんのこと、石膏像、静物デッサンを行うことでイラストレーション表現に必要な基本的要素を身につける。	○	
支持体研究	水中油滴（O／W型）半吸収性下地と、吸収性下地(水性)の2種類を実際に作成する。制作した支持体は、それぞれ風景表現研究などの演習で使用し、その支持体に合った描画方法も学ぶ。	○	
絵画応用Ⅰ	絵画における表現を支えてきた理念や理論・メチエ（技法等）などを、様々な資料を用いながら講義を行う。		○
絵画応用Ⅱ	絵画作品の成り立ちを線・形・色・光・影・躍動感・イメージなどのデザイン的造形要素によって捉え、また、絵画「表現」に至るまでの動機、コンセプトの起こし方など、古典から現代までの美術史において重要な作品を例にとりながら、それらの表現技法と内容を分析する。		○
人物表現研究	自画像の制作と、モデルを迎えての人物画制作。人物の正しい骨格の理解、プロポーションを掴み描くことを目指す。生きている人間の生命感を表現する。		○
油彩表現研究Ⅱ	大きい作品を描く上での留意点、画面構成について考察し制作する。どのような作品を描くか綿密に構想を練り制作へと移行していく。		○
技法研究Ⅱ	様々な技法やマチエールを探求し、制作に役立てる。コラージュ、ドリッピング、スパッタリング、スタンピングなどの技法を体験し、偶然性から誘発される内的イメージをビシュアル化できることを目標とし、自分の作品表現の可能性を拡げる。		○
技法研究Ⅲ	様々な画材を使い、自由な発想と共に新たな技法表現を模索、実験し最終的にミクストメディア作品を制作する。		○
絵画応用Ⅲ	油彩を主体に様々な素材、方法を知り、他画材との併用の実験など画材研究を交えながら小品を一枚制作する。		○
デッサンⅢ	基本的・本質的なデッサンを学ぶ。デッサンⅡを踏まえ、さらに描く能力の追求、技術の向上を目指した内容とする。		○
版画表現研究	版画の魅力について興味、理解を持ち、数ある版画の技法の一つエッチングによって銅版画を制作する。グランドをひいた銅板にニードルを使って、ハッチングをメインとした描き方で制作。部分的にアクアチントを用い、腐蝕による工程を経て、版を作り、プレス機を使用して刷り上げる。		○
１年前期課題制作	日常の実習を通し学んだ発想・技法を活かし、前期のまとめとして課題制作する。	○	
１年後期課題制作	日常の実習を通し学んだ発想・技法を活かし、後期のまとめとして課題制作する。	○	
進級制作	1年間のまとめとしての成果を問うべく、各自が専攻色を活かしたテーマにもとづき、長時間かけて制作を行う。	○	
就職講座Ⅱ	デザインの現場での採用試験の傾向、エントリーシート・履歴書の作り方、作品の準備、プレゼンテーションおよび面接試験対策を学ぶ。		○
２年前期課題制作	卒業制作を迎えるにあたり、在学中に学んだ専門知識・技術などの専攻色を十分に活かしたテーマ設定とアイディアを考える。		○
卒業制作	在学中に学んだ専門知識・技術などの専攻色を十分に活かして、自らのテーマを設定し、長期間集中して制作を行う。		○
総履修時間		480	480

※夜間部では1年前期に全専攻が共通教科目としてデザインの基礎を、1年後期から専門教科目を学びます。 ※1年間で480単位時間、2年間で960単位時間学びます。

※時勢や企業のニーズにより、内容が変更になることがあります。 ※美術系大学の通信講座を同時に受け、中学・高校教諭一種免許（美術）を取得する方もおります。